

ふたじま小だより



ホームページはこちらから↓



「学習評価及びあゆみ」について

本校の評価の仕方について見直しを行っていますので本校の考え方とともにお知らせします。

1. 【観点別学習状況の評価】

各教科等の観点別学習状況の評価の観点が「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点到整理されています。

○「知識・技能」

「覚える知識」のみではなく、社会における様々な場面で「活用できる知識」として身に付いているかを評価します。

○「思考・判断・表現」

知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることを学習状況等から評価します。

○「主体的に学習に取り組む態度」

発達段階に応じて、粘り強く学習に取り組みながら、自分の学習を振り返って、自ら改善しようとする態度を評価します。

☆観点別学習状況の評価

たいへんよい	「十分満足できる」状況と判断されるもの
よい	「おおむね満足できる」状況と判断されるもの
がんばろう	「努力を要する」状況と判断されるもの

2. 評定 【観点別学習状況の評価を基に、総合的に】 3年生以上の後期の「あゆみ」だけ

教科の学習の様子（1年間の学習の様子）					例（5・6年生）				
教科	国語	社会	算数	理科	音楽	図画工作	家庭	体育	外国語
たいへんよい									
よい									
がんばろう									

☆評定の出し方（例）

3 観点			観点別学習状況の評価	評定
たいへんよい	たいへんよい	たいへんよい	「たいへんよい」が3つ	たいへんよい
たいへんよい	たいへんよい	よい	「たいへんよい」が2つ「よい」が1つ	
たいへんよい	よい	よい	「たいへんよい」が1つ「よい」が2つ	よい
よい	よい	よい	「よい」が3つ	
よい	よい	がんばろう	「よい」が2つ「がんばろう」が1つ	
よい	がんばろう	がんばろう	「よい」が1つ「がんばろう」が2つ	がんばろう
がんばろう	がんばろう	がんばろう	「がんばろう」が3つ	

「評定」については、前述の観点別学習状況の評価の観点を基に上の表に照らして、各教科の目標の実現状況を総合的に捉え、各教科、年度末に評価します。（裏面ににつづく）

学年末は総合的に評価することから、特に、後期のあゆみについては、後期単独の評価を示すのではなく、前期と後期のすべてを総合的にとらえた「年度末」の評価とします。ただし、特別支援学級（なのはな学級）においては、前期後期ごとにそれぞれのお子様の様子をお知らせします。

全ての評価は絶対評価といって他者との比較ではなく、各教科の学習目標に到達できているかどうかで判断します。まず、「よい」と「がんばろう」は規準に到達しているかどうかで判断し、さらに「よい」の中で特に優れているものを「たいへんよい」とします。では、「たいへんよい」はどのレベルなのでしょう？

「算数」の「知識・技能」の観点为例にあげると、本校では全国学力学習状況調査（6年生）を判断基準としています。それぞれ平均点が60点（正答率60%）ぐらいのテストです。このテストで80点（正答率80%）以上の得点が見込める児童を「たいへんよい」の基準の一つと定めています。もちろん学年によって平均点や人数は違いますが今年度の実績をもとに本校の基準に照らして評価をすると「たいへんよい」の人数は1学年あたりおおむね5人～8人ぐらいとなります。（この人数は予め決まった人数ではなく児童の在籍数や学習状況によって減ることもあれば増えることもあります。）

ただし、全国学力状況調査で80点以上をとれば「たいへんよい」ではありません。テストは学習の1つの側面しかはかることはできませんから、テストだけで評価は決まりません。授業中の評価などを加えて総合的に評価を決定しますが、「たいへんよい」の子どもは全国学力学習状況調査においても80点以上とれる児童であるという考え方をしているということです。

また、学校でいつも行っているテストでは平均点が80点ぐらいですから学校のテストで80点をとったからといって「たいへんよい」にはなりません。「たいへんよい」をとるにはもっと高得点を常に取りれることが一つの目安となります。

「算数」を例に説明しましたが点数化されているテストの点数が一番わかりやすいため一つの基準として示しました。重ねて申し上げますが、テストだけで評価が決まるわけではありません。授業中の学習態度や成果などを含めて学習を総合的に判断し、評価が決定するということをご理解いただきたいと思います。

さらに評価する側の教師からすると、絶対評価である以上、自分の評価基準が正しいのかを検証するための目安が必要となります。教師が「たいへんよい」をつけた児童のうち多くが全国学力学習状況調査で80点以上をとれなければ教師の評価基準を見直すことが必要になるということだと思えます。

本校では、「あゆみ」が子どもたちの改善や意欲につなげるものになるよう正しい評価に努めてまいりますが、お尋ねになりたいことなどございましたら学校へご連絡いただきますようお願いいたします。

昨年から所見の記述が後期だけになっています

「あゆみ」のなかに「1年間の連絡」として学校生活や学習の様子を文章でお知らせしています。

昨年度からは、子どもたちと向き合う時間を増やすためにこれを後期にまとめて記述するように全市で統一されています。お子さまの学校生活や学習の様子は7月と12月の個人懇談会で担任よりご報告させていただきますのでご理解とご協力をお願いいたします。

新しいタブレットが届きました

8月20日（水）に児童1人に1台、新しいタブレットが届きました。

これまで使っていたものよりも画面が大きく、学びの際の一つの道具として、大切に使ってほしいと思います。これから先、ますますタブレットが生活の主流となってくることは、間違いありません。子供たちが効果的に使えるように職員も日々使い方の研修をしています。今は、使うことができるように名前シールを張ったり、充電したりして着々と準備が整いつつあります。ご家庭に「二島小タブレット活用のルール」を配布予定です。